

# 能登半島地震・被災者支援プログラムの報告（第10回）

東京都・TVAC・CS-Tokyo

■日程：2024年6月26日（水）～6月29日（土）

■ボランティア参加者数：20名

■サロン実施場所および被災者の参加者数（実施場所が2か所増えました）

| 日時       | サロン実施場所                | 被災者の参加者数 |
|----------|------------------------|----------|
| 6月27日（木） | 穴水町諸橋地区 諸橋仮設団地         | 14名      |
| 6月27日（木） | 穴水町甲地区 兜公民館            | 33名      |
| 6月27日（木） | 穴水町中居地区 住吉公民館          | 31名      |
| 6月27日（木） | 輪島市町野地区 金蔵集会所          | 13名      |
| 6月28日（金） | 穴水町志ヶ浦地区 志ヶ浦コミュニティセンター | 30名      |
| 6月28日（金） | 輪島市門前地区 禅の里交流館         | 33名      |
| 6月28日（金） | 輪島市門前地区 皆月多目的集会所       | 32名      |
| 6月28日（金） | 輪島市門前地区 浦上公民館          | 30名      |

## ■被災者の声（主なもの）

- ・輪島の朝市は漁師が捕った魚が並んでいたが、漁に出ることが出来なくて今後は心配。仕事がないから金沢に移ぎに出ている。
- ・過疎化と高齢化が進んでいる。若者は戻って来るだろうか。こっちに移住してこないかい？
- ・とてもサロンが助けになっている。みんなで集まれる場があって嬉しい。
- ・屋根の修理が追い付かない。地元の大工は1年待ち。県外の業者が営業に来るけど、詐欺が怖くて警戒してしまう。石川の職人に頼みたいが地元で大工が足りない。
- ・自分では住めると思っていたけど査定で全壊と言われてしまった。本当はつぶしたくない。悔しい。
- ・ニュースで能登の地震の情報を見ても、字幕だけで寂しくなった。復興は進んでも、自分の心の整理が追い付かない。
- ・孫が陸上をやっていたが、練習場に仮設住宅が建ってしまって悲しい。
- ・仮設に住んでいるとコミュニケーションがとりづらいので、こういった機会があるのはありがたい。
- ・水が出ないからレンジでチンするごはんが助かる。
- ・アパートは大丈夫だったけど、両隣りの家が震災で寄りかかってしまい、中に入れない。持ち主と連絡も取れず頭を抱えている。
- ・地震がまた来るかもしれないけど、景色がきれいだからこれからも住み続けたい。

## ■ボランティアの所感（主なもの）

- ・いつも瓦礫撤去など作業系のボランティアをやっていて、今回初めてサロン活動に参加した。サロンに人がたくさん集まることに驚いた。
- ・チラシを見て7月以降もやってくれるということで感謝していますという声をいただいた。
- ・耳が不自由な方がいらっしやって、スマートフォンで文字を打って意思疎通を図った。

